

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道建設課

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	③ 災害用マンホールトイレの整備推進
------	----------------	------	---------------------	----	--------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせるにより計画的な地震対策に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	「川口市地域防災計画」に示されている指定避難所などを対象とし、災害用マンホールトイレの整備を進めます。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、指定避難所等にマンホールトイレを4箇所設置します。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益の支出	資本的支出	総事業費	収益の支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	77,379	0	77,379	76,334	0	76,334	99%
	工事費	55,929		55,929	55,929		55,929	100%
	原材料費	0			0			
	委託料	21,450		21,450	20,405		20,405	95%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	8,295		8,295	8,295		8,295	100%	
どういふ成果を達成するか【成果指標】	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを4箇所設置した状態。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事が完了した状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを4箇所整備中である。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を実施中である。					
78点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	工事施工にあたり学校運営に支障がないように、また事故等ないようにより一層努め、マンホールトイレを4箇所整備する。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費 予算執行率	72,430千円 100%	事業進捗度	自己評価 評価者結果	B 予定通りの成果を上げた B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういふ成果を達成したか【達成状況】	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを4箇所整備した。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を実施した。					
80点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	予定している学校(9箇所)にマンホールトイレを確実に整備するため、学校責任者との事前調整等を実施していく。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	16	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	16	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						3	4	
中間	14	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						3	4
終了	16	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						4	4	
中間	16	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	16	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						4	4	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						4	4	
中間	16	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						4	4
終了	16	成果	成果指標を上まわっていますか？						4	4
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						4	4	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	16	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						4	4
終了	16	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						4	4

5 事後評価

指標					R1	R2	R3	
指標名	マンホールトイレ整備された避難所率	単位	%	目標値	34	41	49	
算出式・根拠	(整備された避難所等/避難所(104箇所))×100			実績値	34			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。)	評価者結果
		A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出していない	
達成度	B	予定していた小学校(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校)に、マンホールトイレを整備した。	B
効率性	B	工事時期(夏季休暇中)や施工方法等について、学校責任者と事前調整を綿密に行い、効率的かつ安全に工事を実施した。	B
有効性	B	マンホールトイレの設置により、災害発生時においてもトイレが使用できるよう貢献した。	B
説明責任	B	工事契約後、工事車両の搬入方法や生徒への安全対策等、具体的な工事内容の説明を学校責任者(教頭先生等)に行った。また、工事完了後、マンホールトイレの使用方法(写真等含めた詳細図により)について、学校責任者や防災課に説明を行った。	B
組織学習	B	マンホールトイレの使用方法、設計基準等を整理し、課内で共有した。また、下水道展への参加により、知識の向上を図った。	B
総合評価	B	・予定していた小学校にマンホールトイレを整備した。 ・工事調整等を綿密に行い、予定通りに事故なく安全に工事を完了した。	次年度方針 現状維持で継続 B